

# 黒田精工株式会社

(証券コード：7726)

## 2024年3月期 第2四半期決算 補足説明資料

### <目次>

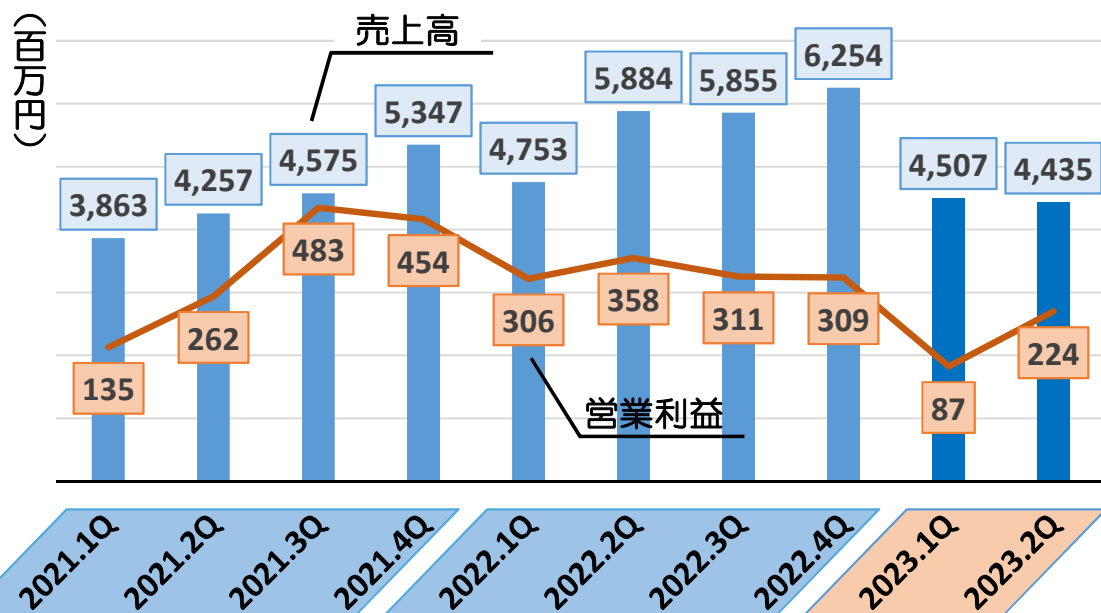
1. 2024年3月期 第2四半期決算概要
2. 通期連結業績予想、配当予想
3. TOPICS

2023年11月14日

# 1. 2024年3月期 第2四半期決算概要

# 2023年度第2四半期 連結決算概要

(単位：百万円)	2022年度 第2四半期累計	業績予想 23年8月10日付	2023年度 第2四半期累計	増減 (前年同期比)	増減 (業績予想比)
受注高	11,856	-	8,976	△2,880	-
売上高	10,637	9,850	8,942	△1,695	△907
営業利益	664	485	311	△352	△173
経常利益	1,026	435	453	△573	+18
親会社株主に帰属 する当期純利益	657	280	284	△372	+4



- ◆ 半導体・液晶関連装置の市況低迷により、駆動システム商品の受注が減少。金型システム事業では、電動車駆動モーター用金型の受注が堅調に推移した一方で、プレス製品の大口販売先の生産調整の影響を受けた。機工計測システム事業でも、工作機械や減速機市場の低迷などから、低水準の受注が続いた。
- ◆ 受注の調整局面が続く中、受注残の消化に努めたものの、上半期の売上高は前年同期比マイナス1,695百万円の8,942百万円で着地。
- ◆ 利益面では、単体での売上減少の影響に加え、ドイツ現法（駆動システム事業）に於いて、工場移転後の生産立ち上げが計画から大幅に遅れたこと等により単月赤字が続き、累計連結利益の足を引っ張る形となった。

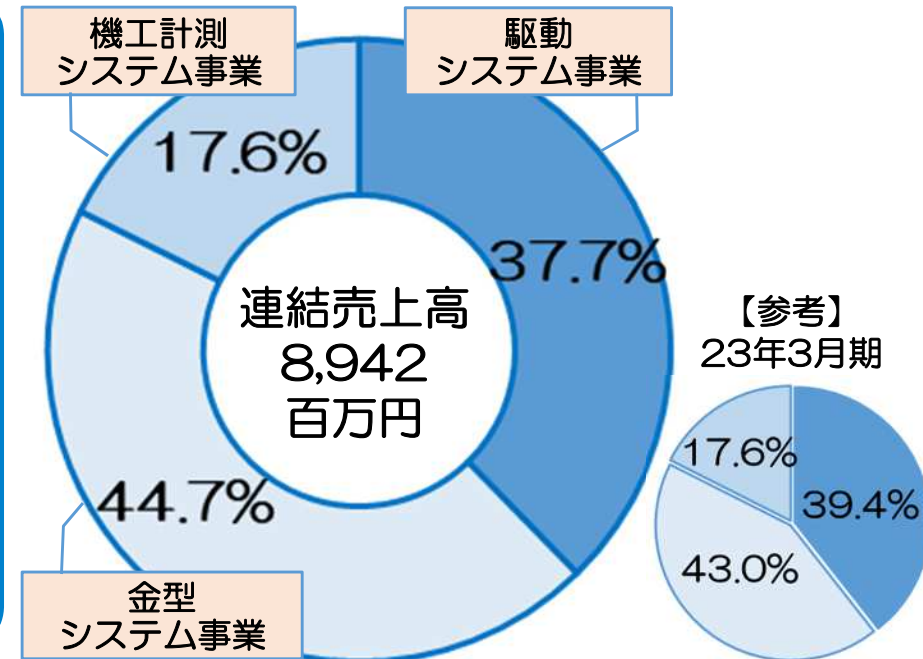
# セグメント別概要

単位：百万円	受注高 (前年同期比)	売上高 (前年同期比)	営業損益 (前年同期比)
駆動システム事業	2,986 (Δ1,561)	3,378 (Δ1,097)	Δ3 (Δ626)
金型システム事業	4,233 (Δ1,017)	4,008 (Δ426)	419 (+253)
機工計測システム事業	1,756 (Δ309)	1,583 (Δ150)	Δ86 (+23)

◆駆動：半導体・液晶関連装置市場向け受注・売上の減少傾向が続くなか、親会社単体では期初計画を上回る営業利益を確保したものの、ドイツ現法の工場移転遅れ等に伴う業績低迷の影響を受け、連結ではΔ3百万円の営業損失となった。減収減益。

◆金型：車載用モーターコア製品の主要ユーザーによる生産調整の影響を受け、上期の受注高は前年同期比減少したものの、利益面に於いては、車載用モーター向け金型の売上が堅調に推移するとともに、金型製品の利益率改善が大きく寄与し、連結営業利益では前年同期比プラスで着地。減収増益。

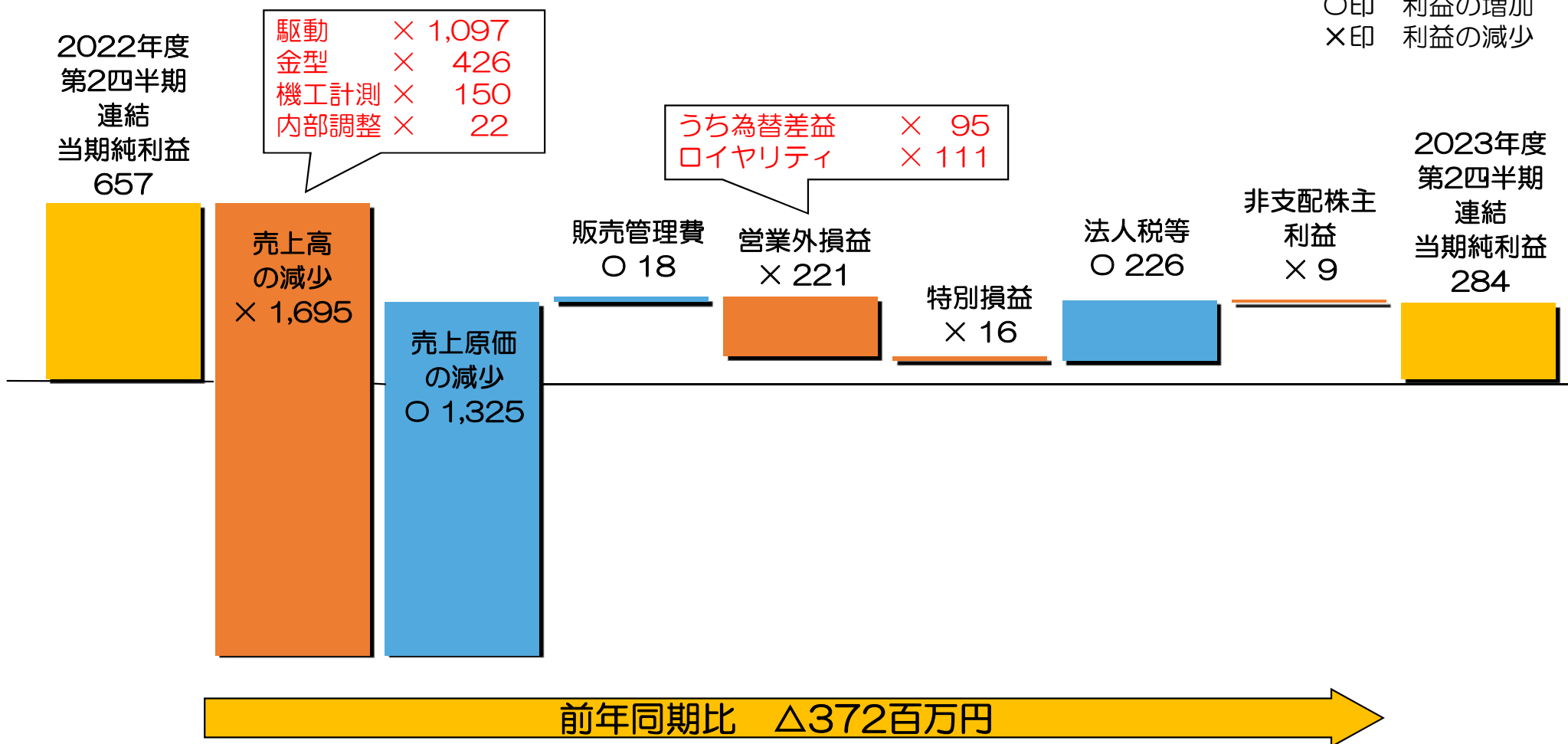
◆機工計測：工作機械市場全体の低迷と自動車業界に於ける設備投資回復の遅れ、精密減速機関連メーカーの在庫調整等の影響を受けて、当セグメントの受注は低水準で推移。受注残の消化に努めたが売上高も前年同期比マイナス。収益面では、経費削減に努める一方、子会社（自動車関連）の収益減少が響き、前年同期比で損失幅は縮小はしたものの、営業損失を計上した。



## 前年同期比 連結当期純利益の変動要因

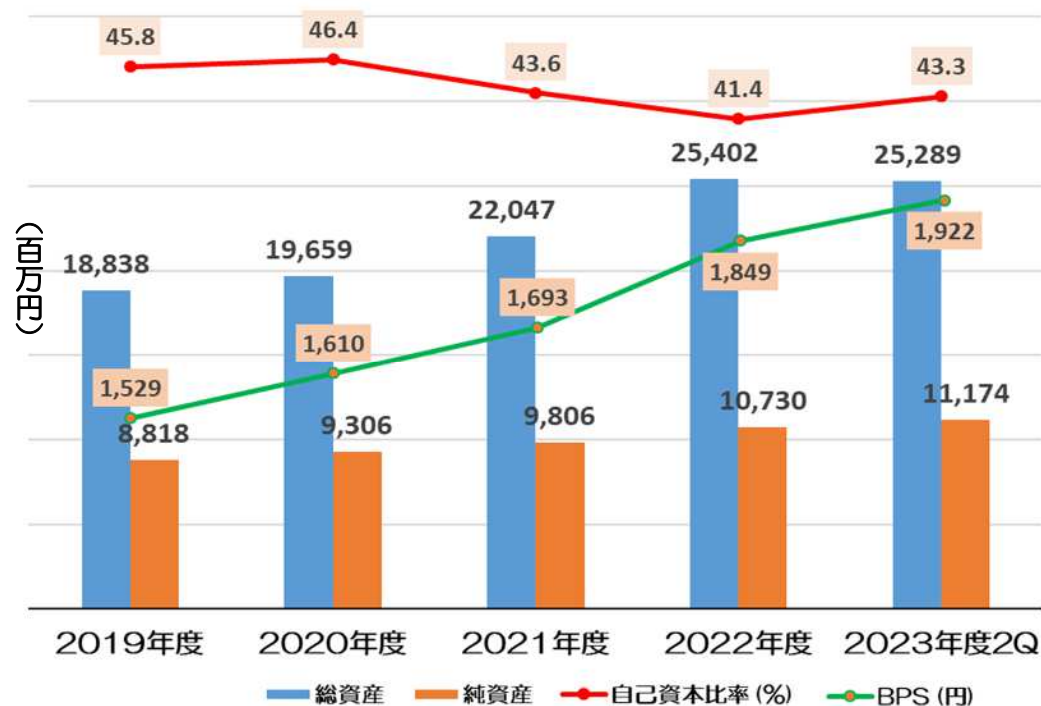
(単位：百万円)

○印 利益の増加  
×印 利益の減少



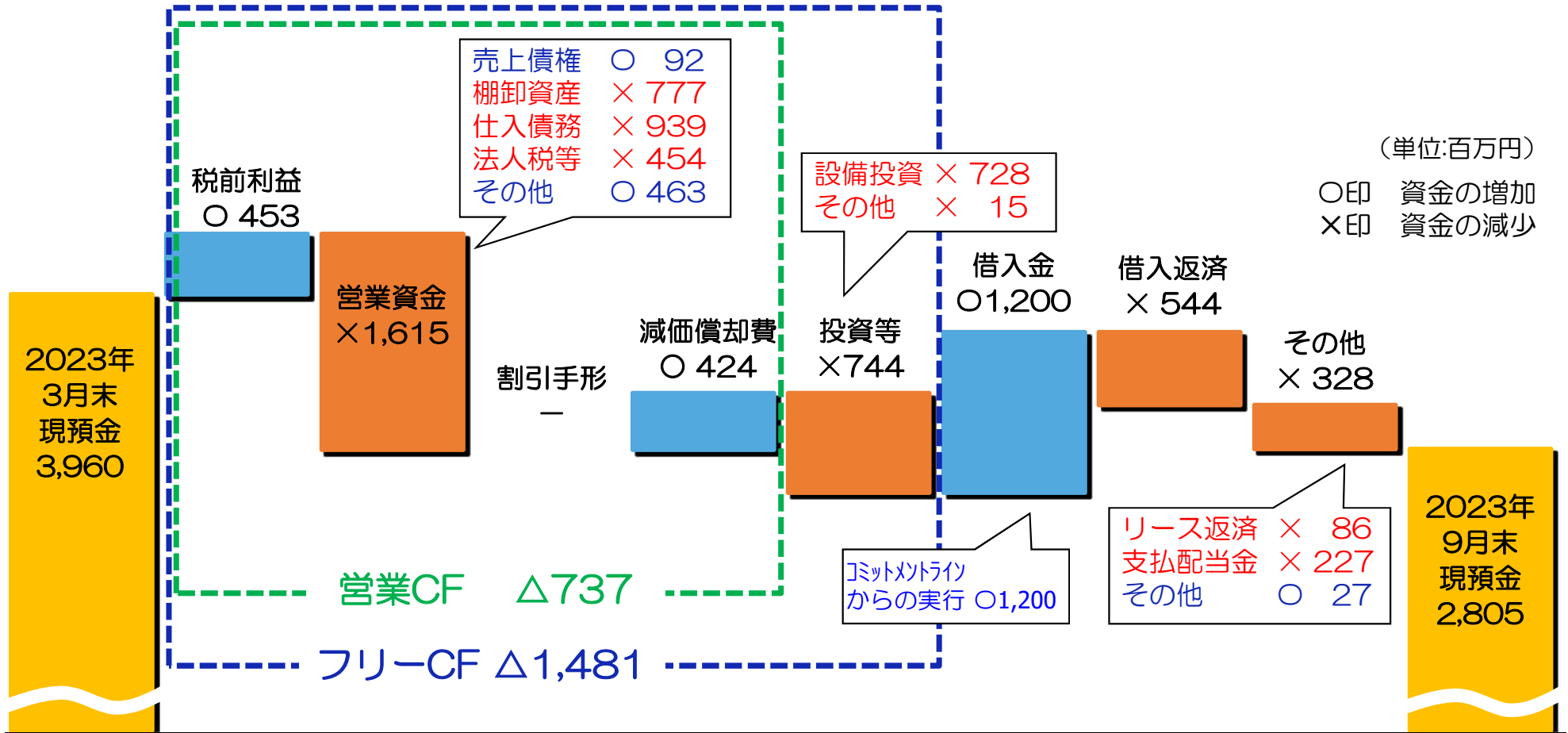
# 連結貸借対照表

	2022年度 (2023年3月期)	2023年度 第2四半期	増減
総資産 (百万円)	25,402	25,289	△113
純資産 (百万円)	10,730	11,174	+444
負債合計額 (百万円)	14,672	14,115	△557
自己資本比率 (%)	41.4	43.3	+1.9 P
1株あたり純資産【BPS】 (円)	1,849	1,922	+73



- ◆ 総資産：前年度末比 △113百万円の減少
  - ⇒ 固定資産の増加 +827百万円 (有形固定資産)
  - ⇒ 流動資産の減少 △940百万円 (現預金など)
- ◆ 純資産：前年度末比 +444百万円の増加
  - ⇒ 株主資本の増加 +77百万円 (利益剰余金等)
  - ⇒ その他包括利益の増加 +364百万円
- ◆ 負債：前年度末比 △557百万円
  - ⇒ 流動負債の減少 △193百万円 (仕入れ債務)
  - ⇒ 固定負債の減少 △364百万円 (長期借入金)
- ◆ 自己資本比率：43.3% 前年度末比1.9P増加

## 前年度末比 連結キャッシュ・フローの変動要因



前年度末比  $\Delta 1,154$  百万円

## 2. 通期連結業績予想、配当予想



# 2023年度通期連結業績、配当予想

単位記載の無い 項目は百万円	前年度実績 (23年3月期)	2023年度 第2四半期累計	当初発表予想 23年8月10日	今回修正予想 23年11月10日	前回予想比 増減率
売上高	22,746	8,942	19,700	18,500	△6.1%
営業利益	1,284	311	970	450	△53.6%
経常利益	1,533	453	870	550	△36.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	906	284	560	350	△37.5%
1株あたり 年間配当金(円)	40円00銭	—	35円00銭	35円00銭	—
配当性向(%)	25.1%	—	35.5%	56.8%	—

- ◆ 半導体・液晶関連装置市場の低迷が長期化していることから、駆動システム商品の受注売上の低迷が継続していることに加え、ドイツ現地法人に於いて、工場移転後の生産立上げの遅れや主要顧客の欧州自動車関連の設備投資需要の冷え込み等の影響により業績の低迷が続いていること等をふまえ、2024年3月期第2四半期累計期間の連結売上高、営業利益及び通期連結業績予想数値が当初の計画を下回る見込みとなったため、上記のとおり修正いたします。なお、個別の業績は好調な金型システム事業が他事業の低迷を補い堅調に推移していること等を勘案し、配当予想については修正を致しておりません。

## セグメント

## 見通し、計画

### 駆動システム事業

	22年度 実績	23年度予想	
		(前回)	修正後
売上高	8,966	8,100	6,100
営業利益	1,030	500	△420
営業利益率	11.5%	6.2%	—

- ◆ 年度内は主要顧客の半導体製造装置向け市場で生産調整・在庫調整が継続し、減収減益を見込む。
- ◆ 加えて、ドイツ現法の工場移転後の生産体制の立ち上げが遅れたこと等による業績悪化により、連結利益は期初予想以上のマイナス影響を受ける見込み。
- ◆ 来年度以降に予想される需要回復期の増産に柔軟に対応出来る生産体制を整えるため、自動化生産ラインの拡充等に向けた設備投資を順次実施していく計画。

### 金型システム事業

	22年度 実績	23年度予想	
		(前回)	修正後
売上高	9,798	7,400	9,000
営業利益	366	370	970
営業利益率	3.7%	5.0%	10.8%

- ◆ 主力の車載用モーターコア金型は引き続き好調な需要を維持する一方、特定顧客の生産調整等によりモーターコア製品の売上高は一時的に伸び悩みが予想される。
- ◆ 今期中に長野工場へのプレス設備増設を伴う拡張工事が完了。その後も車載用モーターコア金型の更なる増産体制構築のため、必要な設備投資を順次実施していく計画。
- ◆ 計画的な売価改善と原価低減活動の成果により、当セグメントの営業利益率は大幅な改善傾向にある。ただし今後、増産体制構築完了まで一時的な外注コストの増加、減価償却費の増加、物流コストの高止まり等が業績に影響を及ぼす懸念。

### 機工計測システム事業

	22年度 実績	23年度予想	
		(前回)	修正後
売上高	3,999	4,200	3,400
営業利益	△81	100	△100
営業利益率	—	2.4%	—

- ◆ 工作機械、要素機器とも自動車産業の需要低迷が長引き、受注・売上げの回復は期初予想より遅れる見込み。
- ◆ 新商品開発、国内外の販売・サービス網の強化、自動化対応や産業用ロボット分野などの新市場の更なる開拓・深耕を図り、早期の業績回復に努める計画。
- ◆ 一部の部材調達コスト及び物流コストの高止まりが業績に影響を及ぼす懸念。

# 3. TOPICS

## 【環境】 富津工場に太陽光パネルを設置し発電開始

カーボンニュートラルの達成を目指すCO<sub>2</sub> 排出量削減計画の一環として、再生可能エネルギーの活用を推進するため、2020年に既に設置済みのかずさアカデミア工場に続き、富津工場にも太陽光パネルを設置し、2023年9月より発電を開始しました。発電量は年間約552MWhを見込み、新たに年間約 260t（最大値）の CO<sub>2</sub>削減が可能となる見込みです。

2024年4月には長野工場にも同規模の太陽光発電設備を導入する計画です。

太陽光による 発電実績	2023年9月		2023年10月	
	かずさ	富津	かずさ	富津
発電量(kWh)	54,475	46,864	52,091	43,198
CO <sub>2</sub> 削減量(t)	24.9	21.4	23.8	19.7



新たに太陽光パネルを設置した富津工場  
(写真はツーリング生産棟)

## 【黒田精工カーボンニュートラル宣言】

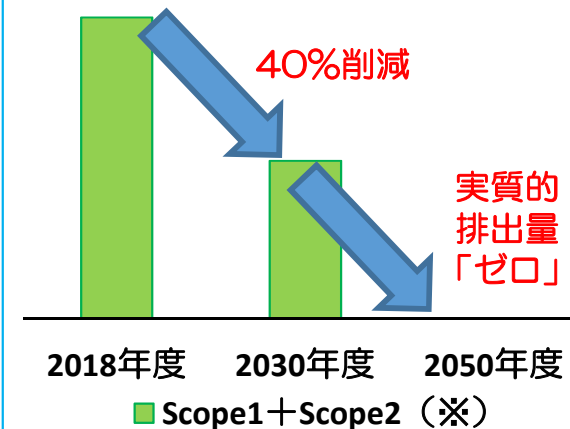
当社は、2020年10月に公開された政府目標を踏まえて、従来計画（注）の見直しを行い、2030年度までのCO<sub>2</sub>削減目標を29%から40%に引き上げる（いずれも2018年度対比）とともに、2050年度にカーボンニュートラルの達成を目指すことを宣言致しました。（注：2019年12月公表のCO<sub>2</sub>削減目標）



かずさアカデミア工場  
2020年5月に太陽光パネルを設置

具体的には、各種省エネ施策の実施、全社用車のEV化、工場への太陽光パネルの設置等に加え、経済合理性のある調達価格である事を前提として再エネ由来等のカーボンフリー電力への切り替え、植林（J-クレジット制度）等のカーボンオフセットを含めた施策の推進により、実質的なCO<sub>2</sub>排出量「ゼロ」を目指します。

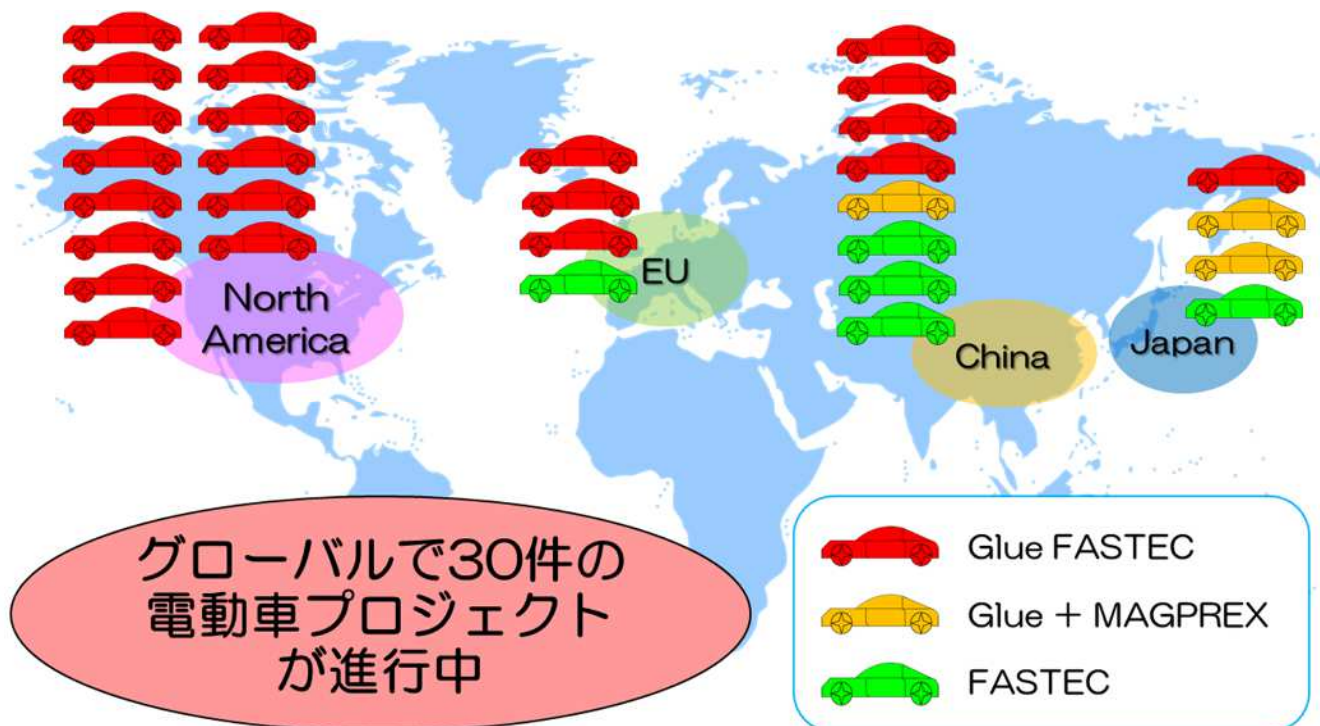
### カーボンニュートラル達成に向けたロードマップ



(※) Scope1：自社での燃料の使用による温室効果ガスの直接排出  
Scope2：自社が購入した電力の使用による温室効果ガスの間接排出



## 【金型】 ◆ 拡大する金型／モーターコア需要に対応するグローバルな供給能力の拡充



拡大する車載用モーターコアの需要に応えるため、当社では長野工場内に第8工場と倉庫棟を増設しモーターコア専用の大型プレスラインと磁石の樹脂固着システムMAGPREX®を増設（2023年度中に稼働開始）しているほか、ユーログループ（伊）や無錫隆盛新能源科技（中）の海外提携先に於いても工場の拡張とモーターコア生産ラインの増設を実施済み又は実施中です。

加えて当社では提携先に供給するGlue Fastec®を中心とした積層プレス金型の生産能力の更なる増強に向けて必要な設備投資を順次実施していく計画です。

完成間近の長野第8工場（外観）



EURO-MISI（中国）が増設したEV用モーターコア工場



無錫隆盛新能源科技で建設中のEV用モーターコア新工場



- ◆ 当資料は、投資家の皆さまに黒田精工株式会社への理解を深めて頂く事を目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。
- ◆ 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- ◆ 当資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠することなく、ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

黒田精工株式会社 経営企画室 IR担当

TEL：044 - 555 - 3800

ホームページ：<https://www.kuroda-precision.co.jp>